

課名	商工労働観光課	観光振興係	No	325
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)		
12 魅力と活力ある産業の振興	7 観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実	
事業名 観光資源整備事業(松嶽山)				
款	7 商工費	項	1 商工費	目
細目	1 観光宣伝費	細々目	1 観光宣伝費	会計種別
事務区分(根拠法令)		自治事務	予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
標高324mの松嶽山は、本市で一番高い山であり、その頂上から臨む景色は厚狭市街を目前に、遠くは小野田地域まで臨むことが出来る。また、頂上付近にある正法寺所蔵の銅鐘は山口県指定文化財となっており、これらを含めた資源は、おおいに観光資源としての活用ができる。	観光客増加のため、松嶽山を整備し、展望台として活用する。	松嶽山展望台の用地借上げ及び登山車道肩の草刈を行い、頂上付近を展望台として活用する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
松嶽山展望台及び登山車道肩の草刈実施回数		観光客数(山陽小野田市)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	137.8 %
3回	3回	660,000人	909,370人	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	管理委託料	345,000	339,250	財源(割内合訳)	国庫支出金		
	用地借上料	118,000	117,540		県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	463,000	456,790
合計		463,000	456,790	合計		463,000	456,790
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
展望台用地借上料については、一般的な相場から見て高額となっている。	展望台用地借上料を平成21年度より5%づつ減額している。貸主の了承を得ており、今後も継続して減額する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当 当面は現在の施策を継続していく。	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

課名	商工労働観光課	観光振興係	No	326					
大項目(政策)	中項目(施策)		小項目(基本事業)						
12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実				
事業名	観光協会運営支援事業								
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	4	観光宣伝費
	細目	1	観光宣伝費	細々目	1	観光宣伝費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
観光振興は多種多様な要素が含まれる為、交通・経済・歴史など各種分野の人材が必要となる。その各種分野の多くの人材が所属する山陽小野田観光協会の活性化は、観光振興を図る上で不可欠であり、各種分野の様々な視点において観光資源の整備充実を図る必要がある。	山陽小野田観光協会の活動を支援し、観光情報の発信、イベントの推進、名産品の開発・推奨や観光資源の整備充実を図ることにより、観光業務を推進し、交流人口の増加と地場産業の推進を図る。	山陽小野田観光協会に団体運営補助を交付する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
山陽小野田観光協会ホームページ ページビュー数		観光客数(山陽小野田市)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	137.8 %
できるだけ多く	51,879件	660,000人	909,370人	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金補助及び交付金	3,299,000	3,299,000	財(源割内合訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	3,299,000	3,299,000
合計		3,299,000	3,299,000	合計		3,299,000	3,299,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.75	4,447,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
山陽小野田観光協会は、交流人口の増加や地場産業の活性化を目的として、観光検定や名産品フェアなど様々な事業に取り組んでいるが、交流人口の増加に向けて観光PRをさらに積極的に行う必要がある。	ホームページの充実やタイムリーな更新、観光パンフレット・観光マップを市外・県外の交流拠点に配置するなど、PR活動を積極的に実施する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当 当面は現在の施策を継続していく。	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	平成24年度観光協会の主な事業 「ホームページ・観光パンフレット等による観光情報発信」、「地域イベントへの支援」、「第1回観光検定」、「産業観光夏休み親子ツアー」、「ふるさとウォーキング」等

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実
事業名	産業観光振興事業					
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費
	目	4	観光宣伝費	目	4	観光宣伝費
	細目	1	観光宣伝費	細々目	1	観光宣伝費
						会計種別
						一般
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続
						経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
観光ニーズが多様化している現代において、近代化産業遺産が徐々に注目を浴びており、産業観光のニーズが高まっている。このような中、本市においても新たな観光の発掘として、産業遺産見学を含む産業観光に取り組んでいる。	新たな観光資源としての産業観光を行うことにより、交流人口の増加と地場産業の振興を図る。また、本事業を通じて、本市の工業の魅力を発信することにより工業振興も図る。	山口県、宇部市及び美祢市と連携し宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会を組織し、広域圏による産業観光の推進を行っている。	
活動指標		成果指標	
募集型ツアー催行回数(本市催行分)		産業観光ツアー参加者数(本市催行分)	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
9回	8回	150名	129名
			成果指標の到達度(B/A)
			86%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金補助及び交付金	540,000	540,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	540,000	540,000
合計		540,000	540,000	合計		540,000	540,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.5	2,965,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
ツアーコースのマンネリ化が進みつつある。新たなツアーコースの設定により集客を進める必要がある。	新規テーマとなる企業・歴史遺産・文化遺産の掘りおこしを行い、魅力的なコースを設定するとともに積極的な広報活動を行い、参加者の増加を図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当 当面は現在の施策を継続していく。	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	平成25年度コース一覧(山陽小野田市関係) 「笠井順八と小野田セメント」、「薫のまち小野田」、「山陽の今昔」、「開作のまちトリサイクル」、「エネルギー・山陽小野田」、「食・山陽小野田」

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実
事業名	きららビーチ焼野管理事業					
予算費目	款	8	土木費	項	3	河川費
	細目	1	河川管理費	細々目	1	河川管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
「焼野海岸C. C. Z整備事業」により新たな観光資源として整備された「きららビーチ焼野」の維持管理については、山口県より市に管理委託されている。現在は、市から指定管理者に管理を委託している。	施設が安全かつ適正に管理されることで、安心かつ快適に利用できる。	県との委託契約に基づき、施設の維持管理に要する費用を市が負担する。指定管理委託費の範囲外で必要が生じた施設の修繕を行う。	
活動指標		成果指標	
修繕料		年間利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
150千円	131千円	20,000人	18,788人
			成果指標の到達度(B/A)
			94%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	修繕料	150,000	131,250	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		150,000	131,250	
合計		150,000	131,250	合計		150,000	131,250
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
利用者の中には、夜間に騒ぐ、犬を散歩させて糞の処理をしない、花火やバーベキューの後片付けをしないなど、マナーの悪い人がいるため、近隣の住民から利用者への指導が望まれている。	沿線の施設管理者や地域の方々等で組織された焼野安全対策推進連絡協議会で利用に関する協議を行う。施設の利用に関するチラシを作成配布し、利用者への指導を強化する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	きららビーチ焼野でのイベント ・やけの美タフェスタ ・山口県ふるさと凧あげフェスティバル

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	12	魅力と活力ある産業の振興		7	観光・交流の振興		1	観光・交流資源の整備・充実				
事業名	竜王山公園オートキャンプ場運営事業											
予算費目	款	8	土木費		項	5	都市計画費		目	2	緑地公園費	
	細目	1	緑地公園費		細々目	1	緑地公園一般管理費		会計種別	一般		
事務区分(根拠法令)			自治事務				予算種別	継続		経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
竜王山公園オートキャンプ場の指定管理者を選定し、運営管理する。平成23年4月1日から平成26年3月31日までの期間で新たに指定管理者を選定した。		管理業務を安価にすることができる。また、効率性が高くなり利用者満足度の高い業務にすることができる。		年間を通じた清掃・草刈・剪定・施設の受付などを行う。	
活動指標			成果指標		
指定管理制度への移行			オートキャンプ場の利用者数(対前年度比)(人)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
		H23.04.01移行済み		104	
				%	
				23,122	
				24,052	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	3,150,000	3,150,000	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	3,150,000	3,150,000
合計		3,150,000	3,150,000	合計		3,150,000	3,150,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	889,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
施設の老朽化に伴い、市が負担すべき多額の改修費が必要となっている。		策定中の公園施設長寿命化計画をもととして管理を行う。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
	H23.04.01移行済み		
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実
事業名	観光宣伝事業					
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費
	細目	1	観光宣伝費	細々目	1	観光宣伝費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
単市での観光振興は、限界があり一層の交流人口の増加を図るには、広域での観光振興の取組みが必要となる。また、情報発信においても、広いネットワークをもつ山口県と連携することにより、高い効果が見込まれる。	山口県の観光情報誌やHPなどの広報媒体掲載、DC(デスティネーション・キャンペーン)などの大規模イベント参画により広く観光客並びに観光エージェントへの情報提供を行い、交流人口の増加を図る。	山口県観光振興団体に加入し、本市からの観光情報提供を行うことにより、山口県観光振興団体から多方面への情報発信を行う。また、山口県観光振興団体が山口県合同の観光PRを取りまとめ、県外で効果的に実施している。	
活動指標		成果指標	
山口県観光連盟ホームページ ページビュー数		観光客数(山陽小野田市)	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
できるだけ多く	12,710,000件	660,000人	909,370人
			成果指標の到達度(B/A)
			137.8%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金補助金及び交付金	602,000	602,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	602,000	602,000
合計		602,000	602,000	合計		602,000	602,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	2,075,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
山口県観光振興団体は、県内をはじめ、県外、首都圏の観光客、旅行エージェント等に対し誘客対策を実施しており、本事業は有効と考える。本市観光情報のタイムリーな提供を行う必要がある。	山口県観光振興団体に対し、引き続き積極的かつタイムリーに情報提供を行い、本市への観光客誘致のための幅広いPR事業を実施していく。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当 当面は現在の施策を継続していく。	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	平成24年度山口県観光振興団体の主な実施事業「WEBサイト強化及び情報更新」、「観光情報誌の発行」、「大都市でのトップセールス」、「山口県観光フレンズ派遣」、「パンフレット・ポスターによる誘客宣伝」、「旅行商品造成」等

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	4	宿泊・娯楽施設の充実
事業名	山陽オートレース場競走路改修工事					
予算費目	款	1	競走事業費	項	2	事業費
	目	1	施設改善費	細々目	2	施設改善費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	新規 臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順
平成19年度に2回目のオーバーレイによる競走路改修を行い、改修周期の5年を超える平成25年度には、透水性の低下等により、安全で公正なレース運営ができなくなる状況にある。	競走路改修を行うことにより、透水性の向上等による安全、公正かつ果敢なレースを展開できる。また、ファンに魅力あるレースを提供でき、これにより集客、収益増加を図り、安定的な事業を行うことができる。	平成25年度に競走路の全面改修による整備を実施する。 ※改修の目安 全面改修後5年周期でオーバーレイによる改修を2回行い、その後は全面改修する。
活動指標		成果指標
競走路全面改修に係る設計委託をする		競走路全面改修に向けた設計を完了する
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)
15,000,000円	0円	15,000,000円
		実績値B(単位)
		0円
		成果指標の到達度(B/A)
		0
		%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	設計委託料	15,000,000	0	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他(基金)	15,000,000	0
			一般財源				
合計		15,000,000	0	合計		15,000,000	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	804,680				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
包括的民間委託契約内容に付随する部分があるため、契約内容によって計画が大きく変わってしまう。	包括的民間委託契約の早期締結。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	B 事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要 今後のオートレース事業の運営によって検討が必要である。
その他	

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	12	魅力と活力ある産業の振興		7	観光・交流の振興		4	宿泊・娯楽施設の充実				
事業名	オートレース事業の包括的民間委託											
予算費目	款	1	競走事業費		項	2	事業費		目	1	事務費	
	細目	1	事務費		細々目	1	事務費		会計種別	特会(小型)		
事務区分(根拠法令)			自治事務				予算種別	継続		臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
累積赤字を早期に解消するため、受託者と共に売り上げ増加に努める。		開催業務を包括的民間委託することにより、安定的な収益が確保できる。		オートレース事業の包括的民間委託。	
活動指標			成果指標		
包括的民間委託によるオートレース事業での収益確保を行う。			累積赤字額等の減少。		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
市収益保証246,075,000円 (売上額9,523,375,000円)		市収益保証310,733,954円 (売上額7,436,530,600円)		72.2	
				%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
赤字解消額42,503,000円 (累積赤字539,602,332円)		赤字解消額30,671,299円 (累積赤字551,434,033円)			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	包括的民間委託料	462,740,000	606,020,613	財源(割内訳)	国庫支出金		
	義務的経費	7,454,533,000	5,429,316,672		県支出金		
	開催経費	1,980,100,000	1,610,697,263		地方債		
	市収益保証	246,075,000	310,733,954		その他	10,143,448,000	7,956,768,502
合計	10,143,448,000	7,956,768,502	一般財源				
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計			
		2.3	10,249,900	10,143,448,000			
				7,956,768,502			

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
最低保証により1億1千万円は確保できるが、公営競技納付金相当額による保証は、売上額によるため、売上の減少に歯止めをかけないと、市の安定的な収益保証の確保ができない。		安定的な収益を確保するための次期委託契約更新条件の早期締結。その内容も長期的なものが望ましい。さらに、開催経費や義務的経費の削減。宣伝でお客へPRをしたり、企画レース等で変化のある運営を行う。またイベントやファンサービス等で来場者への特典をつけることで、入場者の増加を狙い、売上増加へつなげる。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	12	魅力と活力ある産業の振興		7	観光・交流の振興		4	宿泊・娯楽施設の充実				
事業名	ホスト機器等リース料の支払											
予算費目	款	1	競走事業費		項	2	事業費		目	6	施設改善費	
	細目	1	施設改善費		細々目	1	施設改善費		会計種別	特会(小型)		
事務区分(根拠法令)			自治事務				予算種別	継続		臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)			事業の内容(対象・目的・意図)			事業実施の手段・手順		
平成9年度から単年度赤字が続き、繰入金等により歳入不足を補っていたが、平成13年度からは繰上充用により補てんを行ってきた。このような中、累積赤字等を早期に解消するため、受託者とともに売り上げ増加に努め、リース料を含む債務の返済を優先した事業運営を図っていく必要があるため。			リース料残額の計画的な返済。			オートレース事業の包括的民間委託により、長期安定的に支払いを行う。		
活動指標				成果指標				成果指標の到達度(B/A)
リース料支払額				リース料残額				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)		100%
117,382,756円		117,382,756円		997,272,554円		997,272,554円		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	リース料	117,383,000	117,382,756	財源(割内合訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他(基金)	117,383,000	117,382,756
			一般財源				
合計		117,383,000	117,382,756	合計		117,383,000	117,382,756
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	960,060				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
施設改善基金からの取崩しとなるため、交付金還付制度が終了した中、積立てを安定的に行う必要がある。	積立てできるのが、収益保証分(売上の0.8%もしくは1億1千万円と納付金相当額分と交付金制度改正差額分)になるので、人件費を維持して収益保証分を確保し、売上を増加させて納付金相当額分を増額させなければならない。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--